

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

学校公開Ⅱありがとうございました。

職業体験学習発表会は、パワーポイントを使い発表時間を決めてのプレゼンでした。受け入れてくださった会社の方や担当の方がわざわざいらしてくれていました。交流協会の松浦日本人学校担当者は、本人達にお願いしてデータをいただくことにしたいのですが、よろしいですか。とまで言ってくださいました。

日本の多くの学校と違うところがあります。

- ・1日の経験を3年間にわたって3回実施する（3年間で同じ事業所は基本的にありません）

- ・学年をまたがって体験し、プレゼンも学年をまたがって作成する

日本の多くの学校は、中2か中3で2日から5日間を1回だけ経験する。

私の息子は土木工事を3日間、中3でやりました。疲れ切っていました。娘は町の温泉とホテルで掃除などを担当しました。楽しかった。と言っていました。経験したことをダイレクトに仕事に結びつける人は、さほどいないでしょうが、共通した「人のためになることが結果的に喜びになる」というのはある気がします。

9月27日 (火)

お昼の中学校生徒会の選挙活動がはじまりました。朝は数日7時30分ころから運動をしていました。ハイタッチ作戦です。

教育局の査察がありました。子ども達が外僑学校に在籍できる資格をもっているかの確認にきました。書類審査です。当たり前ですが、外国で学校として認めてもらっているので、教材等の輸入税の免除など様々な優遇措置を受けています。

9月28日 (水)

4年生が、社会科見学に烏山頭ダムに行ってきました。裏面で紹介します。

9月29日 (木)

書類を見たり、印をついたりしてほとんど職員室にいました。そこで、いつもの風景で中庭をみていたら、数日前まで花が黄色だったのが、赤くなっています。季節の変化なのでしょう。PTA祭りに雨が降ったらどうするのだという疑問が朝の打ち合わせで出たのですが、10年近く一度も降ったことがない、との林事務の話でした。

9月30日 (金)

5, 6時間目に「生徒会役員選挙立ち会い演説会」が開催されました。この原稿を書いている段階では、選挙公約を文書で見えています。立候補者は、いずれも真剣に、自分のこと、自分たちのことを考えています。楽しみです。

烏山頭ダムから

(学校だよりには違う視点から書いてみました)

9月28日(水)に烏山頭ダムに社会科見学で行きました。

4年生の学年だよりから一部抜粋

○特に学べたと思うことは、どうぞ(八田與一)のことです。どうぞにはどんな歴史があるのか、などです。そして、実際の烏山頭ダムの水などがみることができてうれしかったです。予想と当たっていたり、当たっていなかったりしたけど、いろいろ分かって良かったです。また、まとめて行きたいです。

社会科では、日本全国どこでも地域を開発したことを取り上げて4年生で授業をするようになっていました。先日、台中の教頭先生にお会いしたとき、子ども達が烏山頭にいくのです、と話していました。記念室には、台北日本人学校の6年生が描いた絵が貼ってありました。台湾では、特に日本人が開発したことを考えれば、台湾にある日本人学校で、八田與一さんが中心に開発をした烏山頭ダムを取り上げるのは自然なことです。

見学コースは、次のようでした。

○八田與一銅像・墓で、お墓には花を、そして、お参りしました。子どもの質問でダムを作るのに反対の人はどうしたのですか?で、「多くの人が幸せになるのだからと説明して受け止めてくれた」と説明がありました。

○機関車では、当時のものだそうで、これで石などを運んでいたとのこと。

○ダムの上を歩き、昔の取水口、とか、あれが今の取水口だとかの説明を受けました。

○ダムの上には地震計が取り付けられていて、ダムの異変を探っています。

○殉工碑では、ダムの完成とともにつくられ、亡くなった方を日本人台湾人の区別なく亡くなった順に名前を刻んであります。

○記念館では、DVD(日本語)を見ました。ダムを作る様子、どんなにダムが役に立っているかのインタビューがあり、私は八田さんの息子さんが外代樹夫人の自殺の理由を「台湾の礎になるために自殺をした」というところに強く惹かれました。(多くの解釈は、與一さんが亡くなったための悩みで自殺したということになっています。)

○送水口の上に特別に入れてもらいました。日立製の発電機?(タービン)があり、1931年に作られたと刻印されてありました。今は使われていませんが、使えるとのこと。

○吊り橋では、官田溪をせき止めたダムであるので、水があふれダムが崩壊を起こさないために、自然に流れるようにつくられたものを見学しました。

○八田與一記念区では、八田さんが住んでいた家を復元したところに、玄関まで入れてもらえました。中にある家具は寄付などでまかなわれていました。(実際につかったものか、同じ年代のものだと思われます。)

○官田の村に行き、村の人が作ったお寺の2階に村人が作った資料館を訪れ、村の人に説明してもらいました。村の人の案内で、実際の用水路を2カ所(台南市の方向、彰化までいく水路)、鉄道線路(石やサトウキビを運んでいた)跡を見学しました。